

【1 月 月例会】

〈日 時〉 1月20日(日)13:30~16:30
 〈場 所〉 山梨県福祉プラザ 4F
 〈参加費〉 一家族 1,000 円 (当事者は無料)
 〈内 容〉 テーマ



プロフィール

山梨の不登校の子や親のための「ぶどうの会」(略称)を10年前から設立し、自身の体験記や対応のための本の出版や各種交流、親の会、学習会、電話相談、個別相談、講演会企画等で滅私奮闘中。

「不登校の家族と10年以上の関わりの中から」
 講師 鈴木正洋氏による講演とトーク

不登校は依然として増加している。その背景には何があるのだろうか？私達は今までも今からもしっかりとその問題と向き合わなくてはならない。不登校が必ずしも引きこもりに繋がるとは限らないが、不登校時の対応が次のステップへ大きく影響することは間違いない。今回永年の活動の中から代表の鈴木さんにお話を願う。同じ問題を抱える家族会としてぶどうの会鈴木代表に地道な活動の中からこれからの私達の方向性について共に考える機会になればと思う。

《当事者スペース》

〈日 時〉 1月20日(日)13:30~16:30
 〈場 所〉 山梨県福祉プラザ パソコン室

【1 月のミニグループトーク】

〈日 時〉 1月27日(日) 10:00~12:00

山梨県福祉プラザ 4F

月例会とは違った集い、心おきなく話しましょう。

※参加費は500円です。(当事者は無料)

農園でギャザリングしよう

- ◆市民農園・・・1区画 55㎡(約17坪)1年間 6,000円
場所:甲府市七沢町
友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか！
- ◆お問い合わせ=055-243-0261(相良農園)

すみれ会

- ◇月例会 1月12日(土)13:30~15:30
今年初めての会です。新しい気分でお集まりください。
- 場所:南アルプス市市民活動センター
- ◇お問い合わせ=090-5416-8748(清水)



桃の会今後の予定 2019年(H31)

- *月例会 2月17日(日)13:30~16:30
 - *ミニグループトーク 2月24日(日)10:00~12:00
- 山梨県福祉プラザ
 ※予定が変更となる場合があります。



お問い合わせ
 TEL/FAX/☎
 0266-55-5411
 090-6190-8677
 〒391-0000
 長野県茅野市豊平泉
 グリーンヒルズビル3F
 200-101
 桃の会事務局

新しい年になりました。桃の会では会の運営についてお手伝いをしていただける方を募っております。ボランティアでの活動となりますが、ご協力をいただける方、お待ちしております。今度事務局の住所電話番号が変わっております。ご注意ください。

山梨県 桃の会

HP : <http://momonokai.org/> E-mail : meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第52号

私達は人との関係を通して自己肯定感を確認

したいという欲求がある。

自分の考えや行動を大切な人が同意してくれ
 たら自信が持てる。

反対されると反発以上に自分はダメな人間で
 はないかと打ちのめされる。

自己を肯定する力が「生きる力」のエネルギー
 の源であり、その奥深くに自分を信じ人を信じる
 力が育っている必要がある。



出会う、つながる、わかちあう

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

コラム

希望の電話

山田孝明

12月26日長野県の茅野市から京都へ向かう高速バスの中で1本の電話をもらった。京都の八条口に着くや、私は着信のあった電話番号に折り返しました。岐阜県の土岐市の方でした。お母さんの小さな声で「息子が京都に住んでいるんです」と。

話を聞くと仕事をしてなくて仕送りしているけれど、連絡がつかず息子さんが何を考えているのか分からない苦悩を訴えていました。私が思わず「どちらの大学ですか」と聞きました。卒業や、就職活動がうまくいかず挫折感を持ってひきこもってしまったのかなと感じました。よくある親たちの相談の話です。しかし、お母さんの返事は意外なものでした。「息子は50歳になります」と。「えーそうなんですね」と私も驚いて声がでてしまいました。こんな電話での相談ははじめてでした。

哲学の道の近くのアパートに住んでいて、私の家から自転車で5分もかからない場所でした。いろいろと尋ねたあと私の経験的な話を伝えました。

年が明けて1月5日に会うことになりました。「私たちがいましなければならぬことは山田さんと会うことですね」と言ったお母さんの言葉がこころに残りました。

長く仕送りし続けていたことと、息子さんがなにをを考えているのが分からない苦悩から少しでも楽になったらいいのになあと思いました。

父親82歳、母親68歳となっていました。

(桃の会スーパーバイザー)



謹賀新年



2019年1月

新しい年が皆様にとりまして希望の持てる年になりますようお祈り申し上げます。桃の会もどうぞよろしくお願いたします。

ピア Voice

12月の月例会「山田氏と語ろう！」はとても好評であった。

参加者全員が山田さんと話す機会を持ち、全員で共有するという形式で行った。

山田さんのひきこもりに対する長年の経験から生まれる「生きた言葉」は私達に発想の転換をもたらすものであった。

非常に繊細でありながら、ひょうひょうとして先を見据えている感性は常識的な社会にどっぷりつかっている人ほど異質に思えるかもしれないが「今、日本は見えない難民を抱えている」という考え方は京都のみならず他県を飛び回り、現実には多くの困難な事例に直面し経験しているからこそその表現である。

その根底には日本の教育のあり方が大きく根差し、石川啄木の言葉「教育は真に人間を作る」を引用し人間が人間作りをしていく大切な役割を強く訴えられた。京都で25年以上主宰しているライフアートという居場所についてコミュニケーションのスキルを身に付ける場所ではなく「生きていていいんだ」という生存保障のメッセージを受けとる場所であると言っている。

ひきこもりだけではなく相次ぐイジメ、虐待、自殺の問題がすでに、この社会に警笛を鳴らし続けているにもかかわらず社会の受けとめはどこか他人事で、水面下で問題がどんどん深刻化していることにしっかりと目が向けられていない。この現実に気付く為には山田さんの地味な活動の積み上げの中からのメッセージが非常に貴重な投げかけとなるだろう。(sino)

県へ提出した要望書の回答がありました！

要望事項

- ①支援機関のネットワーク、家族会の活用
- ②引きこもり実態調査の実施
- ③断らない支援、継続的支援の体制づくり
- ④訪問の充実
- ⑤支援拠点、居場所の充実

以上の5件の要望についての回答

- ・引きこもり検討会議の充実
- ・市町村主体的活動の為の充実
- ・支援窓口の充実、支援者の為の研修会の実施
- ・モデル事業の実施や支援者養成に伴う手引き書等の作成

引きこもり現象という社会的危機において国は30年度に35億円、31年度には53億円を計上している。私達の税金で賄われているこの予算を生きた支援に使って欲しい。

当事者、家族を巻き込んだ支援体制づくりは不可欠である。当事者、家族の声が届かない限り支援のあり方は見えてこないはずである。若者達が「生きる力」を失っていく社会に未来はない。

県は、主導的立場に立って危機的意識を持ち市町村を力強く引っ張っていくという気迫を是非ともお願いしたいのである。

御礼

障害福祉課関係者の方々には誠実に回答頂き当会の為に貴重な時間を頂いたことに感謝を申し上げます。